

「CIVIC TYPE R」がニュルブルクリンクでFFモデルの最速ラップタイムを記録

Hondaは、ドイツのニュルブルクリンク北コースで、「CIVIC TYPE R (シビック タイプアール)」の性能評価のための走行テストを行い、FFモデルで最速^{※1}となる、7分44秒881^{※2}のラップタイムを記録しました。これにより、フルモデルチェンジをしたシビックTYPE Rの運動性能が先代モデルと比較し、さらに向上したことを証明しました。



シビック TYPE Rは、スポーツモデルの本質的価値である「速さ」と官能に響く「ドライビングプレジャー」を両立した究極のピュアスポーツ性能を目指し開発されました。

※1 Honda 調べ（2023年4月時点）

※2 Nürburgring 公式測定値。2019年より制定された Nürburgring 公式ルールに基づく、北コース（Nordschleife）20.832kmでの測定値。2019年以前は、20.600kmでの測定かつ Nürburgring 非公式タイム

■最速ラップタイムを支えた主な技術

- ・先代モデルの 2.0L VTEC TURBO エンジンに基づき、ターボチャージャーの刷新などにより最高出力 243kW、最大トルク 420N・m に向上
- ・フロントグリル開口面積拡大や、ラジエーターの有効開口面積の拡大などにより、冷却性能及び排熱・空力性能を向上
- ・フロントとリアともに、細部の形状にこだわったデザインにより効果的にダウンフォースを向上させ、限界走行時における安定性を実現
- ・先代から採用している 2 ピースディスクブレーキシステムのマスターパワーの特性を変更し、低速から高速までのさらなるブレーキのコントロール性を追求。また、ブレーキへの導風効率を高めたことで、クローズドコースでの連続走行時におけるブレーキ温度の上昇を低減し、安定したブレーキ効力と耐フェード性を実現
- ・CIVIC TYPE R に標準装着の MICHELIN PILOT SPORT 4 S（ミシュラン パイロット スポーツ フォー エス）の開発ノウハウを生かし、ミシュランと MICHELIN PILOT SPORT CUP 2 CONNECT（ミシュラン パイロット スポーツ カップ ツー コネクト）を共同開発。サーキット走行性能をより引き出し、ドライグリップ性能を向上させるとともに、バランスのよいハンドリングを実現

■シビック TYPE R 開発責任者 柿沼秀樹

～世界中のシビック TYPE R ファンの皆様へ～

シビック TYPE R は、“Ultimate SPORT 2.0”をコンセプトに据え、己を超えるクルマづくりで TYPE R にしかない「本質」の価値と、心に響く「官能」を磨き上げた、究極の FF スポーツを目指し開発しました。2022 年 9 月の日本での発売を皮切りに、私たちの想像を遥かに超える驚きと喜びの声を、世界中の皆様から数多くいただく中で、もう一つ、私たちが果たさなければならぬ使命がありました。それは、“ニュルブルクリンク FF 最速”を成し遂げることです。

先代シビック TYPE R から 6 年の時を超え、私達が TYPE R にかけての想いと進化の先に到達した新次元。ついにその称号を世界中の TYPE R ファンの皆様にお渡しすることが叶いました。

すでにお乗りいただいている方から、これからオーナーになられる方まで、私達とともにその誇りを胸にしながら TYPE R を愛し、そして満喫していただけることを心より願っています。